



本巣郡北方町立こども園 園だより

いきいき北っ子

令和6年12月26日 冬休み号

心が動く本物との出会い

今年もあとわずかとなりました。4月当初、幼かったお子さんもできることが一つ一つ増え、いつの間にか心も体も大きく成長しました。保護者の皆様にとっても、お子さんの成長を実感できる一年だったでしょうか。

さて、子どもの頃の感動体験は、豊かな人間性を育む近道です。本園は、子ども達の豊かな感性を育むために体験活動や本物との出会いを大切にしている取組を行っています。こうした取組を通して、非認知能力の育成に努めているところです。今月も子ども達の心が動く行事がありましたので紹介します。

一つ目は、北方消防署の方を招き「命を守る訓練」です。北学園の配膳室から出火したという想定で、実際に119番通報を行い、リアルな訓練を行いました。子ども達は、担任の先生の指示に従い、ハンカチで口を覆い、素早く黙って駐車場へ避難することができました。その様子を見守った消防士さんから「命を守る行動が身に付いている」と褒めていただきました。その後、先生による消火訓練を見た後、消防士さんから消防車の説明を聞きました。消防車の秘密を教えてもらったり、火事を防ぐために日々訓練したりしている話を聞くなかで、消防士さんに尊敬とあこがれをもちはじめ、子ども達の中には「消防士さんになりたい!」と、思いをもつ子どもも出てきました。さらに、年長児には子ども用の消防服を着せてもらう疑似体験があり、消防士さんを身近に感じることができました。

二つ目は、プロによる人形劇団(むずび座)を招きました。むずび座オリジナル「でっかいの、ちっちゃいの」と、日本昔話で有名な「ねずみのすもう」を全園児で観ました。さすがにプロは違います。音響効果を交えながら、人形が本物であるかのように子ども達に語りかけてきました。どの子も微動だにせず、話に引き込まれていきました。人形劇を観た後、「楽しかった。」「昔話の本を読みたい。」と、興味をもつ子がいました。ご家庭でお子さんが人形劇の話をしてもらったら聞いてあげてください。そして、数多くある日本の昔話を紹介していただければ幸いです。来年も子ども達の心が動く豊かな感動体験を大切にしていきたいと思います。

早いもので明日から冬休みです。ご家庭によっては大掃除をはじめたり、新年の準備をしたりと、年末年始は慌ただしく過ごされるご家庭が多いのではないかと拝察いたします。また、お子さんによっては生活のリズムを崩しやすい時期でもあります。十分ご留意していただき、素敵な冬休みを過ごしてほしいものです。よいお年をお迎えください。

